

# 第 1 4 回 全 員 協 議 会 会 議 記 録

開 閉 会 日 時	令和 5 年 3 月 1 0 日 (金 曜)		1 0 時 0 5 分 開 会
	休 憩		
会 議 場 所	本 会 議 場		
出 席 議 員 氏 名	議 長 早 苗 豊	議 員 寺 町 平 一	議 員 渡 辺 洋 一 郎
	副 議 長 常 通 直 人	議 員 鈴 木 健 充	議 員 堀 切 忠
	議 員 西 尾 一 則	議 員 中 村 和 宏	議 員 橋 本 和 仁
	議 員 柴 田 正 博	議 員 立 川 美 穂	議 員 中 田 智 恵 子
	議 員 正 村 紀 美 子	議 員 梶 澤 幸 治	
欠 席 議 員 氏 名			
説 明 等 に 出 席 し た 者 の 氏 名			
事 務 局 職 員	事 務 局 長 安 田 敦 史	総 務 係 長 佐 藤 史 彦	総 務 係 主 査 上 田 瑞 紀

『会 議 に 付 し た 事 件 と 会 議 結 果 な ど』

1 開 会

議 長 が 開 会 を 告 げ、事 務 局 が 日 程 を 説 明 し 協 議 す る。

2 議 件

(1) 協 議 事 項

- |   |           |
|---|-----------|
| ア 令 和 4 年 度 議 会 費 補 正 予 算 案 に つ い て                 | 資 料 1     |
| イ R 4 議 会 報 告 と 町 民 と の 意 見 交 換 会 総 括 報 告 書 に つ い て | 当 日 資 料 2 |
| ウ R 4 議 員 自 己 評 価 結 果 に つ い て                       | 資 料 3     |
| エ R 4 議 会 活 性 化 計 画 評 価 案 に つ い て                   | 資 料 4     |
| オ R 4 常 任 委 員 会 抽 出 事 業 達 成 評 価 に つ い て             | 当 日 資 料 5 |
| カ R 5 主 要 な 議 会 活 動 の 基 本 的 な 考 え 方 案 に つ い て       | 資 料 6     |
| キ R 5 議 会 活 性 化 計 画 案 に つ い て                       | 資 料 7     |

3 そ の 他

2 議 件

(1) 協 議 事 項

- ア 令 和 4 年 度 議 会 費 補 正 予 算 案 に つ い て 資 料 1
- ・ 総 務 係 長： 3 月 定 例 会 議 最 終 日 に 提 案 予 定 の 減 額 補 正 で あ る。
  - ・ 議 長： 意 見 ・ 質 疑 は な い か？
  - ・ (意 見 ・ 質 疑 な し)
  - ・ 議 長： 説 明 に 対 し 異 議 が な い た め、 3 月 定 例 会 議 最 終 日 に 提 案 す る。

イ R 4 議会報告と町民との意見交換会総括報告書案について 当日資料 2

- ・事務局長：前回の全協（第12回：2月21日開催）を踏まえて、両常任委員会及び議運での改めて協議を経て整理したもの。3月定例会議最終日に議運委員長から報告する。
- ・議長：意見・質疑はないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・議長：説明の内容で3月定例会議最終日に議運委員長から報告する。

ウ R 4 議員自己評価結果について 資料 3

- ・正村議員：資料3-1（自己評価結果）、3-2（自己評価結果からの課題抽出）説明。
- ・議長：意見・質疑はないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・議長：異議ないか？
- ・（異議なし）
- ・議長：提案のとおり共有する。

エ R 4 議会活性化計画評価案について 資料 4

- ・事務局長：議運として、今年度の主要事業及び活性化策に係る評価案を共有し、協議する趣旨。主要2項目は「C評価」。活性化策は外部評価と自己評価が「C」。議員間討議は「B」とした。根拠は進捗工程表に朱書で整理したので御参照いただきたい。
- ・議長：意見・質疑はないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・議長：提案のとおり決定する。

オ R 4 常任委員会抽出事業達成評価について 当日資料 5

- ・事務局長：報告の趣旨となる。両委員会の抽出事業達成評価である。
- ・議長：意見・質疑はないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・柴田議員：評価について異論はない。抽出事業の今後の追跡方法として、今回の予算審査特別委員会を踏まえて意見を申し上げたい。嵐山の件について、指定管理事業は、町の経営部分と委託会社の運営部分の区分などもあり、議会として、予算審査における質疑の範囲に苦慮していることを感じた。議会が関与できる範疇をより調査研究するなどし、町理事者との協議手法及び調査内容等をより精査していくべきと痛感する。令和5年度早々には、次期指定管理者契約の決定行為も控えていることから、何らかの行動をしなければ、問題提起をすることなく事業がこの流れで進んでしまうことを危惧する。
- ・鈴木議員：2年間、総務経済常任委員会として調査してきた。町民の意見も聞くなど工夫をしたが、一番の課題は、議会の調査権が及ぶ範囲での行動に限られることである。次年度以降も嵐山の運営については、調査研究を継続していくべき

と考える。

- ・梶澤議員：議会としても、指定管理者制度自体の研究・検証をもっと深めるべきと考える。嵐山に限らず、今後の公の施設の運営手法として、指定管理者制度が適正なのか、他の手法があるのか、所管の委員会のみではなく、議会全体として研修、研究していくことが求められていると考える。また、次年度以降の取り組みについては、明確に申し送りすべきと考えるがいかがか？
- ・柴田議員：議長と議会運営委員会に委ねてはいかがか。
- ・正村議員：所管委員会の評価結果に付記して申し送りする手法を提案したい。次年度以降に経過を紐解いた際に明確になるのではないか？
- ・議長：所管委員会の評価に付記し、文書は議長・議運委員長に一任としたい。いかがか？
- ・（異議なし）
- ・議長：決定する。

カ R 5 主要な議会活動の基本的な考え方案について 資料 6

- ・事務局長：今年度の活動を振り返り、その結果を踏まえて、新年度の主な7つの議会活動（事業）について、1月から2月にかけて議運及び全協で共有、協議をしてきた。新年度に向けての基本方針をパッケージとしたもの。
- ・議長：意見・質疑はないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・議長：異議ないか？
- ・（異議なし）
- ・議長：提案のとおり共有する。

キ R 5 議会活性化計画案について 資料 7

- ・事務局長：本日共有した前年度の各種事業評価を踏まえて、議運として、新年度への申し送りとして整理した案である。
- ・議長：意見・質疑はないか？
- ・梶澤議員：令和4年度主要事業の評価が「C」。令和5年度への反映の基本的考え方について伺いたい。
- ・正村議員：令和4年度の実績を踏まえて、令和5年度については、主要事業の項目とせず、未達2事項の目標達成に向けた取組方策として、再整理したものである。
- ・梶澤議員：令和4年度の主要事業のひとつである「町民意見を基軸とした議会政策形成サイクルの作動」は、令和5年度の主要事業のどこに引き継がれているのか？
- ・正村議員：「3：議員間討議の習慣化による議会の合意形成確立」である。
- ・梶澤議員：町民から見たときに理解できるのか？
- ・中村議員：今回は、議運としてこのように整理したものであり、御理解いただきたい。
- ・梶澤議員：この案は、改選期後、どのような位置付けになるのか？

- ・中村議員：あくまでも現任の議運として、2年間の活動を踏まえて「申し送りの案」として整理したものであり、改選期後の委員で再考することを阻むものではない。
- ・梶澤議員：政務活動費の検討について、答申したように、次年度以降に向けた引継ぎの視点は？
- ・中村議員：活性化策の「1」の外部評価に位置付けたところである。
- ・議長：次回議運で「政務活動費の調査・研究について」の申し送り方法を協議したい。詳細は議運一任としていただきたい。異議ないか？
- ・(異議なし)
- ・立川議員：検証というワードが目立つ。年度途中であっても、検証が完了すると行動に移すべきと考える。
- ・中村議員：経過を尊重しつつ、随時、検討・検証しながら、よりいっそうの活動成果を求めた協議の結果、お示しの資料となっている、御意見として伺う。
- ・議長：他にないか？
- ・(意見・質疑なし)
- ・議長：異議ないか？
- ・(異議なし)
- ・議長：提案のとおり共有する。

### 3 その他

- ・議長：「その他」でないか？
- ・(なし)
- ・議長：事務局からないか？
- ・(なし)
- ・議長：以上で会議を終了する。

傍聴者数	一般者	0名	報道関係者	0名	合計	0名
------	-----	----	-------	----	----	----

記載のとおり報告する。  
令和5年3月10日

芽室町議会議長 早 苗 豊